

建設水道常任委員会記録

令和4年11月10日(木) 午前8時59分～午前10時25分(9階908会議室)

○出席委員(8名)

委員長	萩原 太郎
副委員長	斎藤 正臣
委員	佐々木 優
委員	二階堂 利枝
委員	後藤 善次
委員	梅津 政則
委員	大平 洋人
委員	二階堂 武文

○欠席委員(なし)

○案 件

所管事務調査「除雪に関する調査」

- 1 委員長報告について
- 2 その他

午前8時59分 開 議

(萩原太郎委員長) ただいまから建設水道常任委員会を開きます。

初めに、委員長報告についてを議題といたします。

前回の委員会では、これまでの意見開陳内容などを基に調査の振り返りを行い、提言項目の大枠と委員長報告の構成案についてご協議いただきました。その際いただきましたご意見を基に、正副委員長手元で委員長報告の素案を作成いたしましたので、本日はその内容について協議したいと思います。

それでは、配付しました委員長報告案について説明しますので、タブレットの資料、委員長報告案をお開きください。構成としましては、前回確認いただいた構成案と同様でございますが、調査の概要、次に本市の大雪の状況と除雪体制の現状、3番として参考人から聴取した内容、4番として先進地視察での調査内容、5番、市への提言、6番、謝辞、7番、終わりにの7つに分けております。

1の調査の概要ですが、調査項目は2月1日に決定した内容に基づき、記載しております。

調査の経過は、10月14日の委員会でお示ししました調査スケジュール案に基づく調査の見込み回数とこれまで実施してまいりました調査手法について記載しております。回数は変更になる可能性もあ

るため、赤字で仮記載しております。

次に、本市の大雪状況と除雪体制の現状については、平成25年度に発生したバレンタイン豪雪と昨年度の大雪状況、また4月25日に実施しました維持補修センターの現地調査及び当局説明の内容、当局に対する文書照会回答内容から、本市の除雪体制の現状と課題、今後の取組について記載しております。

3番、参考人から聴取した内容については、福島県県北建設事務所での取組及び除雪業者との委託契約について、次に沼野参考人から聴取した共助のための行政と地区住民の相互理解についてを記載しております。

4番、先進地視察での調査内容については、先進地視察先での取組の特徴を3点整理しております。

5番、市への提言については、前回委員会でお示した案、関係機関及び庁内連携、小型除雪機貸出制度の拡充、市、市民、民間との連携、情報発信、担い手確保、意欲向上、生活道路の排雪場の設置の6点のうち、生活道路の排雪場設置については、協議の結果、市、市民、民間との連携の中に組み込むこととしておりましたので、そのようにまとめております。

また、担い手確保、意欲向上につきましても関係機関及び庁内連携にまとめられるのではないかと
いうご意見を基に、一つの項目に整理し、除雪体制の安定的な確保とその強化という提言事項にまとめました。

以上のことから、提言事項については次の4点に整理しております。1点目は、除雪体制の安定的な確保とその強化について、2点目は、市、市民、除雪業者との連携について、3点目は、小型除雪機貸出制度の拡充について、4点目は、市民に向けた除雪に関する情報発信についてであります。

最後に、6番、謝辞と7、終わりについては記載のとおりです。

それでは、概要は以上でございますが、これから黙読の時間を約10分ほどお取りしますので、内容についてご確認をお願いいたします。10分ほどの目安で皆さんお読みいただければと思いますので、よろしく申し上げます。

【資料黙読】

(萩原太郎委員長) それでは、この内容についてご意見をいただきたいと思いますが、活発な議論が行えるよう自由討議とさせていただきます。

ただいまから自由討議といたします。

【この間自由討議】

(萩原太郎委員長) 自由討議を終結いたします。ご意見ありがとうございました。

ただいまご協議いただきましたが、それをもう一度整理したいというふうに思います。最初のほうからいってみますか。まず、2ページ、8行目でしたっけ、大雪時はというところを取るというふうなことでありまして、9行目、25センチメートルでしたというところで区切るというふうなところがあります。

3ページにまいりますと、自助公助というところは自助公助ではなくて、自助共助の体制確立のためというふうなところで訂正したいと思います。3ページは以上でしたね。

次に、5ページ、デジタルサイネージというところは日本語的に電子看板というふうなところに訂正をするというふうなことにしたいと思います。

それから、市への提言のところで……

(斎藤正臣委員) タイムリーはどうしますか。

(萩原太郎委員長) タイムリーは、それでいいかというふうに思いますので、タイムリーはそのままにしたいと思います。

安心安全ということの語句ですけれども、これを安全安心というようにところに直してまいります。

次、6ページについては、洗い出しという部分を削るというふうなところであります。

それから、自発的というようなところを市民が参加し、継続可能な除雪環境整備というようなところに訂正したいと思います。

(斎藤正臣委員) いや、違います。

(萩原太郎委員長) 違うかい。ここ違ったっけ。

(斎藤正臣委員) はい。10行目はお話ししましたよね。

(後藤善次委員) これは、もう一回ゆっくり練ってもらってもいいよ。

(萩原太郎委員長) どこでしたっけ。

(斎藤正臣委員) 11行目から、市民参加を含めた3者による。

(萩原太郎委員長) そこですね。すみません。ちょっと進んでしまいました。ここの11行目の部分については、皆さんからたくさんご意見が寄せられました。市民が自発的などというところの自発的というふうなところでありましたけれども、これをもう一度正副で検討して、改めて皆さんにお示しすることにしたと思いますので、よろしく願います。

14行目の自発的は、市民が参加し、継続可能というふうに修正します。

そこまでの修正というふうなことでしたが……

(二階堂武文委員) 2ページ目の……

(萩原太郎委員長) 2ページ、何か漏れてしまった。

(二階堂武文委員) 先ほど文章を一旦切って、25センチメートルでした。一方、一方って入れなかった……

(佐々木優委員) 上にある。このままで大丈夫です。

(後藤善次委員) 一方は上に出ているのだ。

(萩原太郎委員長) 一方は上に出ているから、また一方になるから、一方は入れないで。

(二階堂武文委員) そうか。失礼しました。

(後藤善次委員) さらにとはか、他方でもいいか。

(萩原太郎委員長) そのこのところは、区切っただけで、続くというふうな話でしたよね。

(二階堂武文委員) そうか。頭にあるからね。失礼しました。

(萩原太郎委員長) 取りあえず、このような修正でよろしいでしょうか。

それでは、いただいたご意見を踏まえ、正副委員長手元で素案を修正し、次回の委員会で確認いただきたいと思いますが、よろしいですか。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

(萩原太郎委員長) では、そのようにさせていただきます。

最後に、その他を議題といたします。

正副委員長からは以上ですが、皆さんから何かございますか。

【「なし」と呼ぶ者あり】

(萩原太郎委員長) では、以上で本日の建設水道常任委員会を閉会いたします。

午前10時25分 散 会

建設水道常任委員長

萩 原 太 郎